

平成15年度（2003年度）日本留学試験

総合科目

（ 8 0 分）

I 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見ないでください。
2. この問題用紙は、18ページあります。
3. 解答は、解答用紙に鉛筆（HB）で記入してください。
4. 問題用紙の余白は、メモに使ってもいいです。
5. 監督者の許可なしに、部屋の外に出ることはできません。
6. 試験が終わっても、この問題用紙を持ち帰ることはできません。
7. 受験番号と名前を下の欄に、受験票と同じように記入してください。

II 解答上の注意

1. 各問題には、その解答を記入する行番号 1 , 2 , 3 , …がついています。解答は問題の文の指示にしたがって、解答用紙（マークシート）の対応する解答欄にマークしてください。
2. 解答用紙に書いてある注意事項も必ず読んでください。

受験番号			*					*						
名前														

問1 オリンピックに関する次の会話を読み、下の問い(1)～(4)に答えなさい。

A：2004年に ① アテネ (Athens) でオリンピックが開催されるんだね。

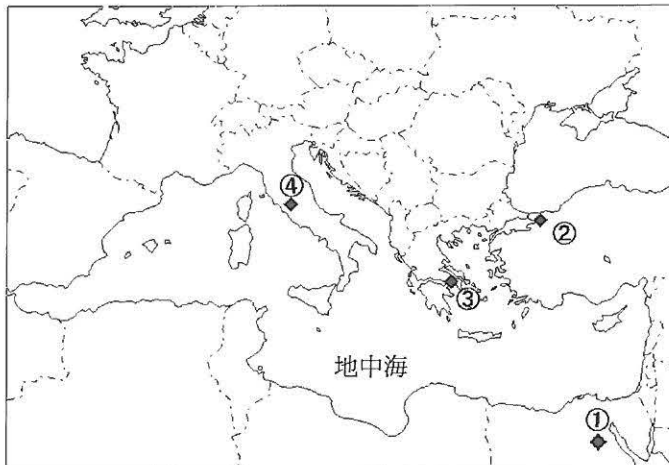
B：近代オリンピックが最初に開かれたのがアテネなんだ。それから ② さまざまな都市 で開催されたが、また戻ったんだ。

A：政治的問題で、③ ボイコットが生じたり、④ 参加を認められない国もあった よね。

B：アテネ・オリンピックが楽しみだ。

- (1) 下線部 ① についてこの都市の場所はどこか。正しい位置を、次の地図中の①～④の中から一つ選びなさい。

①



- (2) 下線部 ② について、オリンピックがまだ開催されていない地域がある。それはどこか。正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

②

- ① アジア (Asia)
- ② 中南米 (Central & South America)
- ③ オセアニア (Oceania)
- ④ アフリカ (Africa)

総合科目ー2

- (3) 下線部 3 について、第22回 (1980年) モスクワ (Moscow) 大会と第23回 (1984年) ロサンゼルス (Los Angeles) 大会では、多くの国がボイコットをおこなった。その背景となった政治的問題として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

3

- ① 冷戦の激化
- ② 石油危機の深刻化
- ③ イラン・イラク戦争 (Iran-Iraq War) の激化
- ④ 南北問題の深刻化

- (4) 下線部 4 について、1992年の第25回バルセロナ (Barcelona) 大会では、南アフリカ共和国 (Republic of South Africa) がオリンピックに復帰した。その契機となったのは、ある反アパルトヘイト活動家が釈放されたことであった。それは誰か。次の①～④の中から一つ選びなさい。

4

- ① M・L・キング (Martin Luther King)
- ② N・マンデラ (Nelson Mandela)
- ③ マザー・テレサ (Mother Teresa)
- ④ ゴルバチョフ (Mikhail Gorbachev)

問 2 次の文章を読み、下の問い(1)～(3)に答えなさい。

1970年代以後、多文化主義 (multiculturalism) の思想が注目されるようになった。それは、1文化相対主義 (cultural relativism) の考え方に影響されつつ、異なる民族や文化集団がたがいを尊重し、ともに共存する社会をめざそうとするものである。とくに、2カナダ (Canada) や 3オーストラリア (Australia) では、多文化主義に基づく社会建設が模索されている。

- (1) 下線部 1 の「文化相対主義」の考え方として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

5

- ① 現存する文化は、進化の過程で生き残った優秀な文化である。
- ② すべての文化は、互いに接触するなかで一つの文化に統合される。
- ③ すべての文化は、経済的な観点から説明することができる。
- ④ すべての文化は、その優劣を単一の尺度で測ることはできない。

- (2) 下線部 2 について、カナダでは二つの言語が公用語として認められている。一つは英語であるが、もう一つは何か。次の①～④の中から一つ選びなさい。

6

- ① スペイン語 (Spanish)
- ② フランス語 (French)
- ③ イタリア語 (Italian)
- ④ ドイツ語 (German)

- (3) 下線部 3 について、オーストラリアは1970年代の移民政策の転換をつうじて多文化主義を採用するようになった。この政策転換によって、どの地域からの移民が急増したか。正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

7

- ① アジア (Asia)
- ② アフリカ (Africa)
- ③ 東ヨーロッパ (Eastern Europe)
- ④ 南アメリカ (South America)

総合科目－4

問3 次の文章を読み、下の問い(1), (2)に答えなさい。

国民総生産（GNP）は、一国の国民が一定期間中に新たに生産したすべての最終生産物の合計金額であり、各生産主体の（ a ）の総計に等しい。また、国内総生産（GDP）は国内で生産された（ a ）の総計のことである。つまり、GNPが（ b ）で分類されるのに対して、GDPは（ c ）で分類されている。

- (1) 上の文中の空欄（a）～（c）に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

8

	a	b	c
①	中間生産物	国籍	場所
②	中間生産物	場所	国籍
③	粗付加価値	国籍	場所
④	粗付加価値	場所	国籍

- (2) 日本の国内総生産（GDP）に含まれるものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

9

- ① 外国の音楽家が日本公演によって得た所得
- ② 外国で生産活動をする日本の企業が現地販売で得た所得
- ③ 外国チームでプレーする日本人スポーツ選手の所得
- ④ 外国で生産活動をする日本の企業が日本への輸出で得た所得

問4 次の(1), (2)の文が示す需要曲線と供給曲線の変化として最も適当なものはどれか。

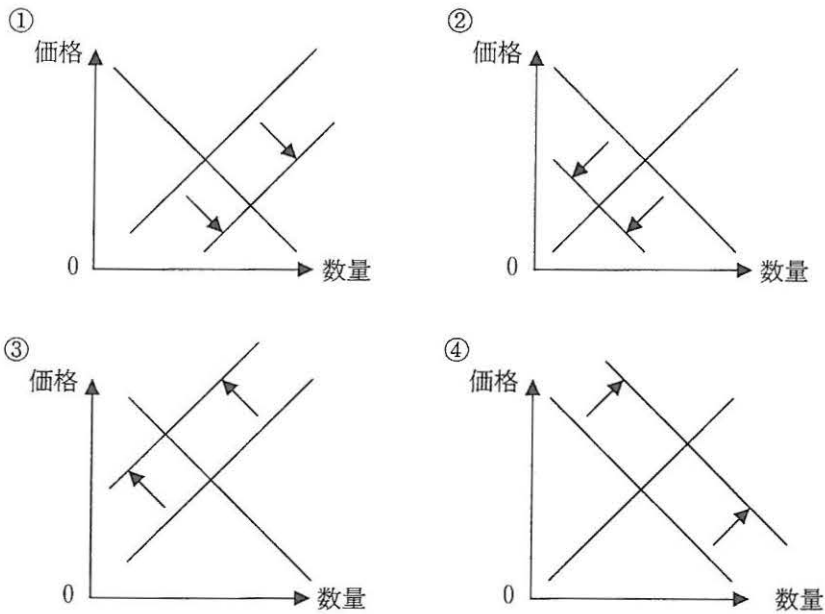
次ページの①～④のグラフの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

- (1) 例年より厳しい寒さの影響によって、大根、白菜など冬物野菜の収穫が減少し、価格が高騰した。

10

- (2) 例年より一足早い寒波の到来で、冬物野菜の需要が急増し、野菜価格が高騰した。

11



問 5 財政には、所得の格差を調整する所得再分配の機能がある。次の①～④の中から所得再分配の目的に合致しないものを、一つ選びなさい。

12

- ① 累進所得税 (progressive income tax)
- ② 相続税
- ③ 社会保障給付
- ④ 消費税

問 6 株式会社の利点の説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

13

- ① 多数の小口投資家が出資でき、多額の資金を集めることができる。
- ② 株主は、会社の経営に無限の責任を負うので責任の所在が明確である。
- ③ 株式の売買は制限されているため、経営が安定する。
- ④ 従業員が出資し株主となるので、民主的経営が期待できる。

問7 産業構造について、次の問い(1), (2)に答えなさい。

- (1) 産業別人口構成を示す次の表中のA～Cに当てはまる国名の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。

14

単位：％

	A	B	C
農林水産業，狩猟	49.3	21.0	2.6
鉱業，採石業	1.1	0.3	0.4
製造業	12.3	18.8	15.0
電気，ガス，水道業	0.4	0.5	1.1
建設業	4.9	5.5	6.7
商業	6.9	21.5	20.7
運輸，倉庫，通信業	3.0	4.4	6.1
金融，保険，不動産	0.6	3.7	12.0
公務，サービス業	2.9	24.1	35.4
分類不能	18.5	0.0	—
計	100.0	100.0	100.0

資料：『世界国勢図会2001/2002』 国勢社

	A	B	C
①	中国	メキシコ	アメリカ
②	中国	日本	ドイツ
③	アメリカ	日本	中国
④	アメリカ	中国	メキシコ

注) 中国 (China), メキシコ (Mexico), アメリカ (USA), ドイツ (Germany)

- (2) 産業構造の変化に関する説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

15

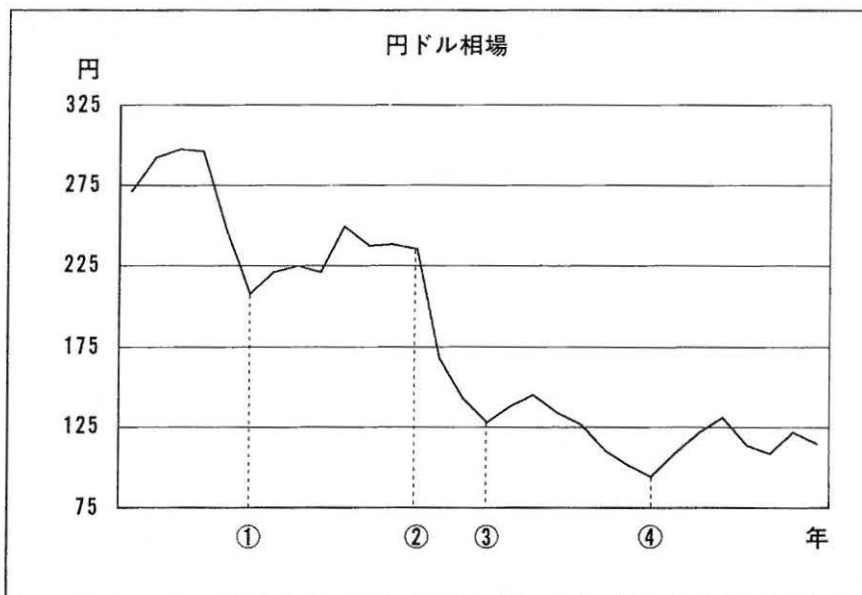
- ① IT革命などの情報通信技術の革新が進行すると労働力に余裕ができ、第一次産業の就業者割合が増加する。
- ② 先進諸国では、工場の機械化の進行により、第二次産業への労働者の流入がなおも拡大している。
- ③ 機械化などで農業の生産性が上昇すると労働力に余裕ができ、第二次産業の就業者割合が増加する。
- ④ 多くの先進諸国では食料自給率を維持するために、政策によって第一次産業の就業者割合を3割程度に保っている。

問 8 次の文章を読み、下の問い(1)～(3)に答えなさい。

1985年9月の先進5か国(G5)によるプラザ合意(Plaza Accord)は、円安ドル高から円高ドル安への転換の契機となった。その後、日本は「円高不況」や「産業の空洞化」(hollowing out of industry)の問題に直面した。

- (1) プラザ合意の時期として正しいものを、次の円ドル相場の推移のグラフ中の①～④の中から一つ選びなさい。

16



- (2) 上の文章中の「円高不況」の生じた理由として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

17

- ① 輸入価格の上昇
- ② 輸出産業の競争力低下
- ③ エネルギー価格の上昇
- ④ 労働賃金の上昇

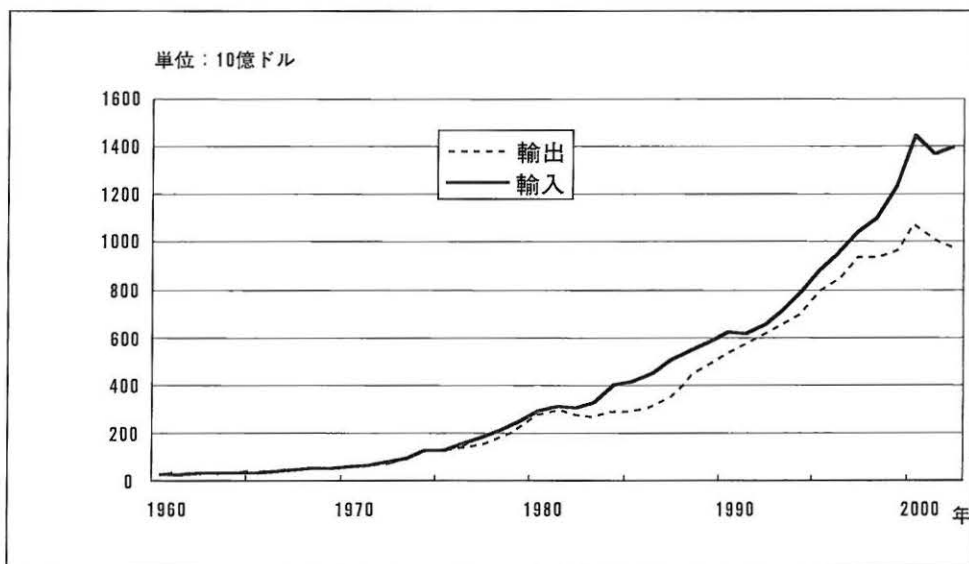
- (3) 「産業の空洞化」についての説明として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

18

- ① 企業経営の多角化（diversification）によって、それまでの本業がおろそかになってしまう状況
- ② 経済のサービス化の進展によって、産業の高度化が妨げられている状況
- ③ 産業構造の転換によって、GDPに占める農業生産の割合が低下する状況
- ④ 製造業企業の海外進出によって、国内から製造業の基盤が失われる状況

- 問 9 次のグラフは、アメリカ（USA）の輸出額と輸入額を示したものである。このグラフの説明として最も適当なものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。

19



アメリカ商務省経済分析局HPより作成

- ① 1960年代末まで貿易赤字であったが、その後貿易黒字に転化した。
- ② 1970年代後半以降、貿易赤字は続いている。
- ③ 1970年代後半以降、貿易黒字は続いている。
- ④ 1980年代まで貿易額は増加していたが、その後は減少傾向にある。

問10 次の表は2000年における世界の8か国の主要な農畜産物の自給率を示したものである。表中のA～Cに対応する国名の組み合わせを、下の①～④の中から一つ選びなさい。

20

単位：％

	穀類	豆類	野菜類	果実類	肉類
アルゼンチン	253.9	481.1	99.2	107.3	107.5
A	191.0	147.4	88.9	76.5	107.1
アメリカ	133.3	120.7	98.1	80.3	109.4
ドイツ	126.3	81.6	36.5	55.1	90.9
イギリス	112.3	113.4	54.2	6.0	76.9
B	94.0	106.4	101.1	99.1	98.1
イタリア	84.1	22.1	128.4	113.0	79.0
C	24.8	37.8	81.5	51.1	53.7

総務庁統計局・統計研修所編『世界の統計』から作成

注) アルゼンチン (Argentine), アメリカ (USA), ドイツ (Germany),
イギリス (United Kingdom), イタリア (Italy)

	A	B	C
①	フランス	日本	中国
②	中国	日本	フランス
③	フランス	中国	日本
④	中国	フランス	日本

注) フランス (France), 中国 (China)

問11 次の図は、日本のある地方の扇状地（alluvial fan）を示したものである。この扇状地について、下の問い(1)、(2)に答えなさい。



2万5千分の1地形図『石和』 国土地理院

(1) この扇状地と、地図の右下隅から流れている川との関係についての正しい説明を、次の①～④の中から一つ選びなさい。

21

- ① 現在、この扇状地は川による著しい侵食（erosion）を受けて、扇状地面上は起伏が大きくなりつつある。
- ② この扇状地は、川によって山地から運搬された土砂が堆積してできた地形である。
- ③ 扇頂部で川から農業用水を取水することによって、この扇状地の中央部分では稲作がおこなわれている。
- ④ この扇状地では、川の氾濫による被害を避けるために、扇端部に人家が分布している。

(2) 図中に描かれた線分PQ（図中では6cm）間の勾配（傾きの度合い）として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

22

- ① 10分の1 ② 20分の1 ③ 50分の1 ④ 100分の1

問12 次の表は、1975年と2000年における日本の輸入額で、上位を占めた品目と相手国・地域の比率を示したものである。表を見て、下の問い(1)～(3)に答えなさい。

	1975年	比率(%)	2000年	比率(%)
品目	原油	34	X	25
	石炭	6	原油	12
	X	5	Y	5
	木材	5	液化ガス	5
	鉄鉱石	4	魚介類	4
相手国・地域	アメリカ	20	アメリカ	19
	A	11	中国	15
	B	9	韓国	5
	C	7	台湾	5

資料：『通商白書2002』他

注) アメリカ (USA), 中国 (China), 韓国 (South Korea), 台湾 (Taiwan)

- (1) 相手国・地域A～Cの組み合わせとして正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

23

	A	B	C
①	サウジアラビア	イラン	オーストラリア
②	インドネシア	中国	マレーシア
③	サウジアラビア	中国	インド
④	インドネシア	カナダ	オーストラリア

注) サウジアラビア (Saudi Arabia), イラン (Iran), オーストラリア (Australia),

インドネシア (Indonesia), 中国 (China), マレーシア (Malaysia), インド (India), カナダ (Canada)

- (2) 輸入品目Xに当てはまるものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

24

- ① 石油製品 ② 機械類 ③ 穀類 ④ 肉類

- (3) 輸入品目Yに当てはまるものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

25

- ① 鉄鉱石 ② 石炭 ③ 綿花 ④ 衣類

問13 海に囲まれた日本は、しばしば津波や高潮など自然災害の被害を受けている。それらの災害について説明した文として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

26

- ① 人口の集中する沖積平野 (alluvial plain) では、護岸 (shore protection works) により高潮の被害を受けにくい。
- ② 高潮の被害を受けやすい地域は、台風の通過ルートと関係が深い。
- ③ リアス式海岸 (saw-toothed coastlines) では、地形的要因により津波の被害を受けにくい。
- ④ 台風の接近に伴い発生する津波は、高さが10m以上になることもある。

問14 日本における地震及び火山活動について説明した文として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

27

- ① 活発な活動を示す火山は、日本の国土には存在しない。
- ② 大規模な地震は、必ず火山活動によって引き起こされる。
- ③ 大規模な地震では、平野部でしばしば液状化 (liquefaction) 現象がおきる。
- ④ 活断層を原因とする地震は太平洋側でのみ発生する。

問15 次の表は、日本、モンゴル (Mongolia)、バングラデシュ (Bangladesh)、スイス (Switzerland) の4か国について、国土の総面積と土地利用状況を示している。このうち日本はどれか。正しいものを、表中の①～④の中から一つ選びなさい。

28

	総面積 単位： 万km ²	用途				単位：%
		耕地	牧場・ 牧草地	森林	その他	
①	4	10.5	27.8	30.3	31.4	
②	38	11.7	1.7	66.2	20.4	
③	14	67.3	4.2	13.2	15.3	
④	156	0.8	74.8	8.8	15.6	

資料：『FAO生産年鑑1995』

問16 次の文章中の下線部の説明として最も適当なものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。

29

日本では1997年に臓器移植法（Organ Transplant Law）が成立し、臓器移植の場合にかぎり脳死が人の死と認められることになった。しかし、日本で根強い伝統的な死生観から、臓器提供を希望する人が少ないのが現状である。

- ① 身体を物質として理解している。
- ② 身体と精神を切り離せないものとして理解している。
- ③ 身体を精神よりも大切であると理解している。
- ④ 身体を神に与えられた神聖なものと理解している。

問17 人権に関する次の文章を読み、下の問い(1), (2)に答えなさい。

日本国憲法では、1さまざまな基本的人権について定めている。近年では、産業化や情報化の進展などで社会が急速に変化してきたため、2憲法に明記されていない人権が新しく主張されるようになってきた。

(1) 下線部1について、経済活動の自由を保障した権利として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

30

- ① 財産権 ② 生存権 ③ 勤労権 ④ 選挙権

(2) 下線部2の「憲法に明記されていない人権」を、次の①～④の中から一つ選びなさい。

31

- ① 労働基本権 ② 身体的自由
- ③ プライバシーの権利 ④ 教育を受ける権利

問18 次の文章と年表を読み、下の問い(1)～(3)に答えなさい。

1991年の（ a ）のとき、日本政府は多額の戦費を負担したが、自衛隊を派遣しなかった。その後、日本政府は1992年に国連平和維持活動協力法（PKO協力法）を成立させ、自衛隊の海外派遣に道を開いた。同法にもとづく自衛隊の海外派遣先は以下のとおりである。

1992年 （ b ）

1993年 モザンビーク（Mozambique）

1994年 ザイール（Zaire）

1996年 シリアのゴラン高原（Golan Heights）

2002年 東ティモール（East Timor）

(1) 文中の空欄（a）に当てはまる語句として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

32

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| ① 朝鮮戦争（Korean War） | ② 湾岸戦争（Gulf War） |
| ③ ベトナム戦争（Vietnam War） | ④ イラン・イラク戦争（Iran-Iraq War） |

(2) 年表の空欄（b）に当てはまる国名として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

33

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ① レバノン（Lebanon） | ② ソマリア（Somalia） |
| ③ エチオピア（Ethiopia） | ④ カンボジア（Cambodia） |

(3) 年表の下線部「東ティモール」は、1974年までヨーロッパのある国の植民地であった。この国の名前として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

34

- | | |
|------------------------|---------------------|
| ① イギリス（United Kingdom） | ② フランス（France） |
| ③ ポルトガル（Portugal） | ④ オランダ（Netherlands） |

問19 次の問い(1)～(3)に答えなさい。

- (1) 下の文章中の空欄 (a) , (b) に入る語句の組み合わせとして最も適当な組み合わせを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

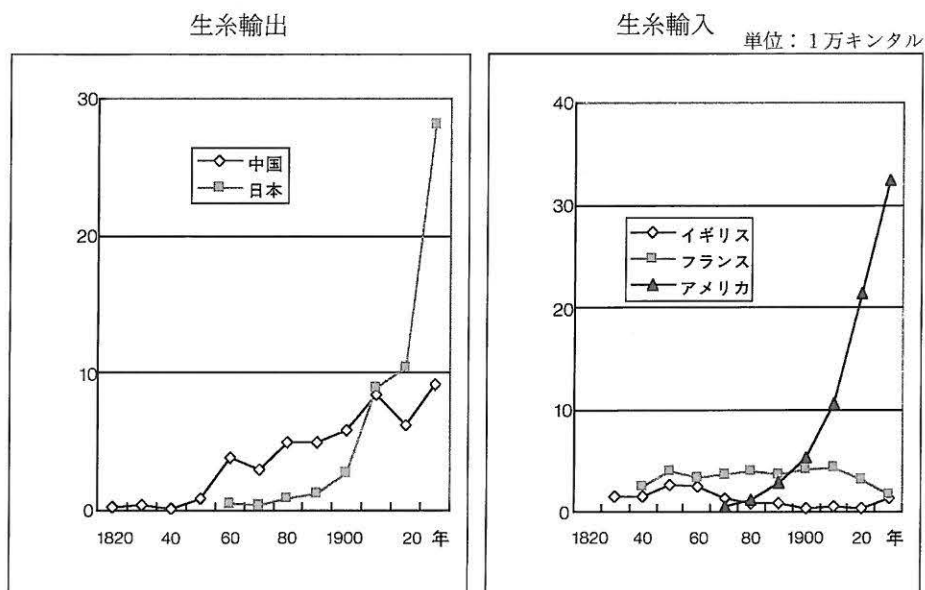
35

イギリス産業革命では (a) , 続いて (b) が重要な役割を果たした。一方アジアの場合、(a) と共に製糸業 (silk reeling industry) も、同じ役割を果たした。なぜなら、特に日本は、生糸 (raw silk) などを欧米に輸出して得た外貨で、工業化に必要な各種機械類を欧米から輸入したからである。

	a	b
①	綿工業	自動車工業
②	毛織物工業	鉄道工業
③	綿工業	鉄鋼業
④	毛織物工業	機械工業

- (2) 次のグラフを見て、20世紀前半に生糸輸出を急増させた国と、主にその生糸を輸入した国として適当な組み合わせを、下の①～④の中から一つ選びなさい。

36



Federico, Giovanni, *An economic history of the silk industry, 1830-1930*, Cambridge University Press, より作成

注) 中国 (China), イギリス (United Kingdom), フランス (France), アメリカ (USA)

	輸出国	輸入国
①	中国	イギリス
②	日本	フランス
③	中国	フランス
④	日本	アメリカ

- (3) 19世紀末以降，日本の工業化は生糸輸出で得た外貨を活用して進められた。その中で政府が果たした役割として不適当なものを，次の①～④の中から一つ選びなさい。

37

- ① 政府は，多くの近代的工場を厳重な管理下において，工業製品の生産を計画的に増加させた。
- ② 政府は，模範となる近代的工場を建設して一般公開し，民間への近代的技術の普及に努めた。
- ③ 政府は，建設した近代的工場の多くを民間企業へ売却し，工場が効率的に経営されるように配慮した。
- ④ 政府は，道路，港湾，鉄道，電信（telegraph）などの産業基盤（infrastructure）の整備をした。

総合科目－18

問20 次の文中の空欄（A）に入る国・地域の名称として正しいものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。

38

20世紀初頭のイギリス（United Kingdom）の外国貿易は、工業国である欧米諸国に対しては約12,000万ポンドの赤字であった。他方、アジア（Asia）やアフリカ（Africa）などからの黒字は合計額が約11,800万ポンドであり、そのうち植民地である（A）からの黒字が、約6,000万ポンドを占めていた。

- ① エジプト（Egypt）
- ② インド（India）
- ③ マラヤ（Malaya）
- ④ 香港（Hong Kong）

問21 次の文章は第一次世界大戦に関するものである。文中の空欄（a）～（c）には、どのような国名が入るか。適当な組み合わせを、下の①～④の中から一つ選びなさい。

39

1914年、オーストリア（Austria）がセルビア（Serbia）に宣戦布告した。これに対して、（a）がセルビアを援助したため、オーストリアの同盟国である（b）が、（a）とその同盟国（c）に宣戦布告した。さらに、（b）が（c）を攻撃するためにベルギー（Belgium）を侵略したので、イギリス（United Kingdom）も（b）に対する戦争を開始した。

	a	b	c
①	ロシア	フランス	ドイツ
②	ドイツ	フランス	ロシア
③	アメリカ	ドイツ	フランス
④	ロシア	ドイツ	フランス

注）ロシア（Russia）、フランス（France）、ドイツ（Germany）、アメリカ（USA）

総合科目の問題はこれで終わりです。解答欄の 40 ～ 60 は、空欄にしてください。

この問題用紙を持ち帰ることはできません。

平成15年度
日本留学試験(第2回)

正 解 表

平成15年度(2003年度)日本留学試験(第2回)試験問題 正解表

<日本語>

記述 問題解答例を285ページに掲載

聴解

問	1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番	8番	9番	10番	11番	12番	13番	14番	15番	16番
答	4	2	2	3	3	3	4	1	2	4	2	1	3	3	3	1

問	17番	18番	19番	20番
答	3	2	1	3

聴読解

問	1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番	8番	9番	10番	11番	12番	13番	14番	15番	16番
答	4	2	1	1	4	2	1	1	3	2	2	3	1	4	3	2

問	17番	18番	19番	20番
答	4	4	4	3

読解

問	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13	問14	問15	問16
答	2	2	1	3	4	2	4	2	3	4	1	3	2	4	4	1

問	問17	問18	問19	問20
答	2	3	4	4

<理 科>

物 理

問	I					II			III		
	A	B		C		A	B		A	B	
	問1	問2	問3	問4	問5	問1	問2	問3	問1	問2	問3
解答欄	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
答	4	5	2	4	1	3	1	6	1	5	3

問	IV						V	
	A		B	C				
	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問1	問2
解答欄	12	13	14	15	16	17	18	19
答	2	3	3	5	2	3	3	3

化学

問	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13	問14	問15	問16
解答欄	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
答	3	3	9	1	6	4	2	5	5	7	4	3	5	3	3	4

問	問17	問18	問19	問20
解答欄	17	18	19	20
答	5	1	2	6

生物

問	問1	問2	問3			問4	問5		問6		問7	問8		問9		問10
			(1)	(2)	(3)		(1)	(2)	(1)	(2)		(1)	(2)	(1)	(2)	
解答欄	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
答	4	5	2	7	6	3	3	1	4	1	3	4	3	3	1	4

問	問11	問12
解答欄	17	18
答	2	4

〈総合科目〉

問	問1				問2			問3		問4		問5	問6	問7	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)			(1)	(2)
解答欄	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
答	3	4	1	2	4	2	1	3	1	3	4	4	1	1	3

問	問8			問9	問10	問11		問12			問13	問14	問15	問16	問17	
	(1)	(2)	(3)			(1)	(2)	(1)	(2)	(3)					(1)	(2)
解答欄	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
答	2	2	4	2	3	2	1	1	2	4	2	3	2	2	1	3

問	問18			問19			問20	問21
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)		
解答欄	32	33	34	35	36	37	38	39
答	2	4	3	3	4	1	2	4

<数 学>

※答えが二重線で囲まれているものについては、囲まれているものが全て合っている場合のみ正解となる。

コース 1

問	I							II							
	問 1				問 2			問 1							
解答欄	A	B	C	D	E	F	G	A	B	C	D	E	F	G	H
答	4	5	2	9	2	0	4	1	—	9	—	2	4	1	9

問	II													
	問 1				問 2						問 3			
解答欄	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
答	1	6	—	1	3	5	0	0	2	4	3	2	3	2

問	III														
	問 1										問 2				
解答欄	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
答	6	2	5	3	2	1	1	3	3	8	—	2	3	3	5

問	IV										
	問 1				問 2						
解答欄	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
答	3	5	1	2	2	2	4	2	1	6	3

コース 2

問	I									II					
	問 1			問 2						問 1					
解答欄	A	B	C	D	E	F	G	H	I	A	B	C	D	E	F
答	3	8	1	8	3	4	4	3	4	1	—	9	—	2	4

問	II														
	問 1					問 2									
解答欄	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U
答	1	9	1	6	—	3	5	—	3	7	—	1	1	—	1

問	II					III									
	問 1				問 1					問 2					
解答欄	V	W	X	Y	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
答	0	1	2	2	6	2	5	3	2	4	3	5	3	2	1

問	Ⅲ												
	問 2		問 3										
解答欄	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X
答	2	3	5	3	5	6	2	3	5	6	—	3	2

問	IV												
	問 1				問 2								
解答欄	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
答	3	5	1	2	2	3	2	1	1	8	3	2	3

「記述」問題解答例

①

外国語の作文を書くときは、私は、まず最初に母語で書いて、次にそれを外国語に直す書き方がいいと思う。作文では「自分の考え」を表現することが一番大切だと思うからである。

自分の考えを楽に表現できるのは母語なのだから、まず母語で言いたいことを書いておいて、次にその文章を外国語に直していけば、外国語の作文でも「自分の考え」が十分に表現できると思う。

これに対し、いきなり慣れていない外国語で文章を書こうとすると、語彙や文法が気になり、内容がおろそかになってしまいがちである。あるいは、外国語では知っていることばも限られてくるので、書きたいことではなく、書けることで済ませてしまう場合もあると思う。そうすると、「自分の考え」を十分に表現できていない作文ができてしまう。

このように、外国語の文章を書くときには、考えそのものを文章としやすい母語で先に書いてから外国語に直していくやり方を、私は支持したい。

②

私は、若い時は貯金をするより有意義な経験にお金を使った方がいいと思う。

まず、若い時にしか経験できないことがある。例えば、自転車で世界中を回るといったことは、若い時はできるが年をとって体が弱ってからでは無理だと思う。

若い時に貯金をしておいた方が年をとってから役に立つという人もいるだろうが、若いうちに有意義な経験をするのも同じように将来役に立つことだと思う。自分の目標を実現するために勉強したり、自分の経験を広げるために旅行したりすることにお金を使うのは将来のことを考えても決してむだなことではないと思う。

また、お金の価値は変わることがあり、絶対的なものではないので、いくら貯金をしていても将来が必ず保障されるわけではない。それより自分自身に投資する方がいいと思う。

以上のような理由で、若い時は有意義な経験にお金を使うべきだという意見に賛成する。

「記述」採点基準

「記述」の採点に当たっては、文法的能力及び論理的能力のそれぞれについて、以下の基準に基づき採点し、その合計点（0～6点）を表示する。

（1）文法的能力（0～3点）

- 個々の文についても、文章全体についても、執筆者の意図が明快に理解可能であるもの（文法・表記上の軽微な誤りや文体上やや不自然な点は許容する。）……………3点
- 文法・表記上明らかに適切でない点を含むが、文章全体から執筆者の意図は明快に理解可能であるもの……………2点
- 文法・表記上明らかに適切でない点がかかなり目立つが、文章全体から執筆者の意図を想像することは可能であるもの……………1点
- 意味不明の文が多く、文章全体から執筆者の意図を理解することが不可能又は極めて困難なもの……………0点

（2）論理的能力（0～3点）

- 主張に根拠が示されており、かつ、主張と根拠との間に十分な論理的関係があり、矛盾が認められないもの……………3点
- 主張に根拠が示されており、概ね論理的な関係が認められるが、一部に論理的矛盾や非整合性も存在するもの……………2点
- 主張は示されているが、その根拠が示されていない、又は、根拠が示されていても、論理性・客観性を著しく欠いているもの……………1点
- 筆者自身の主張が示されていない、又は、何を主張したか曖昧であるもの……………0点